

## 佐々連鉱山・別子銅山記念館

施設管理者 : 住友金属鉱山(株)  
施設所在地 : 愛媛県新居浜市  
調査見学時期 : 平成2年10月25日(木)

### 施設概要

佐々連鉱山の歴史は別子銅山と同時期の元禄2年まで遡る。総産出金属量は、約74,000トンで昭和55年その役割を終えている。現在は保安要員を山元に残すだけとなっている。ここでの見学の第一の目的は、直接地下空間を体験してもらう事で、坑内の約1,000mを徒歩による調査を行った。坑内は明かりこそないが良く保全されており、サビついたウィンチや坑木に生えるコケが真暗な中で懐中電燈に浮かぶ様子は、過去の栄光と地下空間の一面を実感させるに十分であった。

別子銅山記念館は住友発祥の地とも言える別子銅山の300年にわたる歴史に分かり易く展示している。別子銅山は元禄4年から住友によって採掘が開始された。途中幾度か事業存続の危機にも見舞われたが、都度これを克服して事業を継続して来た。

しかし、昭和48年になって採掘が海面下約1,000mに及んで、地圧の増大と地熱の上昇のため、その282年に及ぶ長い歴史に終止符を打った。この間に産出金属量が約72万トン余を産出し、現在の住友系事業の基礎を築いたと言える。(GECニュース第16号より抜粋)

